

特集

日常の 危険を防ぐ

保健師活動に活かす「危険学」

常に死因の上位を占め、また重大な障害をもたらす可能性のある「不慮の事故」。子どもに限らず、成人や高齢者など、どのライフステージにも危険は潜んでいる。その実態を知り、公共の場や身の回りの事故防止へ向けて「危険学」の考え方を紹介する。併せて、事故防止に関する活動事例や、災害時における健康危機管理を紹介し、日常の危険に対して保健師活動に活かせる視点を学ぶ。

●「危険学」入門

日常に潜む危険とは

【事故防止の活動事例】

- ①十和田市における「セーフコミュニティ」活動
- ②地域全体での子どもの事故防止と防災への取り組み
仙台市太白区の活動から
- ③豊島区「子ども事故防止センター Kidsafe」の取り組み
- ④京都市「京あんしんこども館^{みやこ}」の取り組み
- 災害時の健康危機管理
DHEAT 構想について